

株式会社 林商店
〒939-1505
南砺市長源寺77
TEL0763(22)2330
FAX0763(22)7678

社長のひとこと

あつという間に11月になりました。今年を振り返るにはまだまだ早い気もしますが、まだやり残したことが多々あります。自宅で落ち着いて仕事や読書ができる「書斎」を整備したいと思っていましたが、年当初より変わらず「荷物置場」になっている現状です。ここだけでもなんとか綺麗にして新年を迎えたいです。今年も残すところ50日ちょっと！悔いのないよう充実した日々を心掛けたいです！

☆今月の癒しフォト



【お問い合わせ先】

フリーダイヤル

ゼロゴミ ナエコ

0120-053-785

～11月の再生資源相場市況について～

立冬を迎え、そろそろ冬の足音が聞こえてくる時節となりました。日本国内における新型コロナウイルスの陽性者数が激減しており夜の街にも賑わいが戻りつつあります。そんな11月初旬の再生資源の市況についてお知らせいたします。

■古紙

輸出相場がジリジリと下落し始めました。国内製紙メーカーが静観しており、今まで通りの価格で流通しています。今後古紙の発生量は増える見込みは少なく、輸出環境次第では国内の価格も上がる可

性がありますが、まだまだ先の話かもしれません。また業界新聞の記事に「中国が古紙輸入を再開するかもしれない」という内容が載っていました。そうなるとまた古紙業界は活気づきますが不透明です。

■鉄スクラップ

10月中旬から相場が高騰しましたが、11月に入り一気に下落しています。輸出環境の悪化と元々国内スクラップの価格が割高だったこともあり調整局面を迎えたと捉えています。どの水準まで下がるか様子見ですね。私的予測ですが5円～8円/kgは下がる見込んでいます。鉄スクラップをお持ちの方はお早めにお持ち込みください！

■非鉄スクラップ

銅スクラップ相場が乱高下していません。とほいうものの高値であることには変わりはありません。アルミスクラップ相場も堅調でしたが、ここに来てやや陰りが見えてきました。

国内では新型コロナの陽性者が減っていますが、世界に目を向けるとまだまだ収まる兆しはありません。経済も少し雲行きが怪しくなってきましたが、当社は明るく元気に前に進んでいます！どうぞよろしく願いいたします



いよいよ古紙プロジェクトのスタートです

この紙面でもお伝えしていた「持続可能な古紙回収サービス」に向けてのプロジェクトが11月より本格的にスタートします。

「古紙」は価値のある再生資源です。その価格は1kgあたり10円台であり、10kgで100円台、100kgで1000円台の売上になります。この半年回収のデータ分析を行った結果、弊社の約80%近くのお客様の1回当たりの回収数量は100kg未満です。そのほとんどを無料で回収しているのが現状です。

ドライバーを雇い、点検整備をしっかりと受けたトラックで定期的に古紙を回収することはかなりのコストがかかることは皆さまも何となく理解できると思います。古紙業界は昔からこのような形で「無料での回収」を余儀なくされるケースが多く、回収業者の経営を圧迫しています。未来にも繋がる持続可能な古紙回収サービスを提供していくために以下のことをお客様に提案していきます。

- ・回収頻度を削減し、1回当たりの回収量を増やします。
- ・古紙の月次単価をHP上で公

開し、回収数量に応じて価格が上がる仕組みに変更します。

・当社からお客様までの距離に応じて「回収手数料」を頂きます。尚、今回は発生数量の少ないお客様を対象といたします。

11月より当社営業スタッフがお客様のところに足を運び丁寧に説明させていただきますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

